

令和5年度 第3回

立川市立中学校部活動の地域連携及び
地域移行に関する検討委員会

令和6年3月21日（木）

立川市教育委員会事務局教育部指導課

令和5年度 第3回立川市立中学校部活動の地域連携及び
地域移行に関する検討委員会

日時 令和6年3月21日(木) 午後10時00分～午後12時00分

場所 立川市役所 本庁舎 302会議室

出席委員

芦澤 清八

足立 香織

井上 隆一

小菅 隆寛

齋藤 真志

佐藤 善人

田中 義典

都築 啓志

早瀬 健介

水越 伸朗

欠席委員

唐亀 康司

出席事務局職員

産業文化スポーツ部地域文化課長

轟 誠悟

産業文化スポーツ部スポーツ振興課長

中村 達也

教育委員会事務局教育部教育総務課長

小林 直弘

教育委員会事務局教育部生涯学習推進センター長

庄司 康洋

教育委員会事務局教育部指導課長

佐藤 達哉

教育委員会事務局統括指導主事

片山 伸哉

教育委員会事務局教育部指導課指導係長

高橋 周

教育委員会事務局教育部指導課指導係主任

村松 真由美

次 第

1. 地域スポーツ・文化芸術団体へのアンケート調査結果等について(報告)

2. 部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案について

資料1:アンケート調査結果(地域スポーツ団体)

資料2:アンケート調査結果(地域文化芸術団体)

資料3:市民との意見交換会(文教委員会)記録 「部活動の地域移行について」

資料4:立川市立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案

令和5年度第3回立川市立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する検討委員会

令和6年3月21日

【委員長】

これより令和5年度第3回立川市立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する検討委員会を開催いたします。

1. 地域スポーツ・文化芸術団体へのアンケート調査結果等について（報告）

【委員長】

それでは議事にはいります。次第の1「地域スポーツ・文化芸術団体へのアンケート調査結果等について（報告）」事務局より説明をお願いいたします。

【事務局・スポーツ振興課長】

地域スポーツ団体のアンケート調査結果について説明いたします。

まず、アンケート対象ですが、立川市体育協会の加盟団体、競技団体および地区体育会に行いました。このアンケートを実施するにあたり、本年1月30日に行われた、立川市体育協会の理事会で、アンケートの趣旨とご協力のお願いをしたところでございます。

理事会の中では、「具体的な内容はほとんど決まってないのでアンケートに答えようがない」、「競技団体によって会費が違うので市の負担金等を決定したものを提示していただかないと分からない」、「アンケートに協力したいと思うが枠組みを何かしら決めないと答えられない」といったご意見をいただきました。

私からは、「今後の部活動の地域連携・地域移行の方向性を決めるために、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたい」ということでお願いをしたものでございます。

資料1をご覧ください。

こちらがアンケート調査結果になります。36団体から回答をいただいております。

選択回答の中で、まず1つ目の「国が部活動改革を進めていることを知って

いますか？」という設問では、8割近くの団体から「知っている」と回答がありました。2つ目の「今後、立川市でも部活動の地域連携・地域移行を進めていきますが、部活動の地域連携・地域移行に協力したいと思いますか？」という設問では、半数以上の団体が「思う」と回答いただいたところでございます。

次のページ以降の主な個別意見をご紹介します。

部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画案（たたき台）などについてのご意見・ご感想

<①地域クラブ活動の運営団体・実施主体の確保について>

【競技団体】

2 . 中学校では多種の部活動が行われていて、全てのクラブ活動を地域のスポーツ団体等に移行するのは難しいと思います。会費の格差等で学生がやりたい部活動ができない事も考えられ、平等ではなくなるのでは？大会や練習試合等に引率する場合の安全対策等、検討すべきことはたくさんあります。

1 5 . 地域クラブ活動の運営団体・実施主体を確保していくためには、スポーツや文化活動の特性を考え、議論する必要があると思います。この推進計画（素案）は、抽象的な議論に留まっているので、具体的な種目ごと、部活ごとに実施主体の確保についてどのような方針で推し進めるのか、早く具体案を見てみたいです。

<②指導者の量の確保、質の向上について>

【競技団体】

3 6 . 競技団体で指導者の技量を確認し、レベルアップをすることは可能。競技団体の練習会、大会等に参加してもらい、知識・技術の習得をしてもらう。

4 0 . 指導者の登録制度及び定期的な講習会の実施。

【地区体育会】

5 2 . 基本的な事はしっかりやって、あとは学生とともに向上していけばいいのでは。

<③その他>

【競技団体】

- 6 6. まずは文化部、体育部で移行が進んでいる学校をモデルとし、その中で問題点、課題等の情報を共有し、後発の学校の指針としていくのが良いのではと考えます。専門性、経験、コンプライアンス、保護者対応、子どもの特性、他団体との関係、その全てが必要だと思います。
- 7 2. 当協会としてもメリット（活動の活性化、活動の継続化など）もあるので、若年層希望者の「短期間、少人数等」の条件が合えば、ご相談したいと思います。
- 7 4. ～省略～中学校部活動の地域連携・地域移行は、中学生が地域と密接に関わる機会を作り出せる点や、地域の人たちも学生と関わることによって学生が何を考えどのように地域を捉えているのかを把握できるので、良い計画と考えます。また、学校という閉鎖的な場所での部活動から多様性のある開かれた地域交流の場での部活動へシフトすることは、いじめ対策など副次的な効果も期待できると思います。課題は山積みしていますが、一つずつ解決すれば、きっと良い政策になるでしょう。
- 7 7. 中学の部活を引退し卒業し市外に出てしまったあとに立川市に戻ってきたときに、活動する場所がないという声があります。このような活動が市内でできる場所としてあると指導者としても活用できるのではと思います。すべての中学校に部活がない状況で中学生でも参加できるジュニアクラブがあり、そこでサポートもしていますが、ニーズはある種目であると思うので、移行の前に環境づくりも合わせて取り組んでもらえらと思います。

このようなご意見をいただいたところでございます。

【事務局・地域文化課長】

資料2に基づきまして、地域文化芸術団体のアンケート調査結果についてご報告いたします。こちらは地域で文化芸術活動に取り組んでいる団体及び企業にアンケートを実施したものです。

推進計画素案にも記載のように、立川市立中学校の文化部部活動で、休日に活動を行っているのは吹奏楽部のみですので、その点を踏まえ、立川市文化協

会の事務局長などとも調整を図りアンケートを実施いたしました。また、文化芸術のまちづくり協議会に参加している団体の他に、実際に他市で地域クラブ活動を行っている企業にもアンケートを実施しております。

アンケート結果ですが、「国が部活動改革を進めていることは知っていますか?」、「地域連携・地域移行に協力したいと思いますか?」という設問に対して、前向きなご回答をいただきました。

次のページの主な個別意見をご紹介します。

部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画案（たたき台）などについてのご意見・ご感想

2. 地域の文化芸術団体との連携は重要事項だと思いますが、市内の地域・文化団体や規模、構成員、活動内容がかなり異なるから、選別が必要になると思います。
6. 専門的な技術指導ができる地域人材の把握・発掘は重要ですが、量の確保にこだわることなく、学校や地域クラブ活動の運営団体・実施主体とマッチングできるかどうかの問題だと思います。特に、技術指導ができる人材でも、生徒たちとの円滑なコミュニケーションが出来なければ、有害となることもあることから、指導者の人柄、人望等を重要視するなどの質の確保、向上が最重要事項と考えます。
9. 地域の中で生徒たちが、スポーツ・文化芸術活動に親しめる環境を整備していくためには、今後の推進計画にあたって、情報発信、チェック機能体制が必要だと思います。

このようなご意見をいただいたところです。地域の文化芸術団体へのアンケート調査結果について報告は以上になります。

【事務局・指導係長】

資料3、市民との意見交換会（文教委員会）記録をご覧ください。

こちらは、令和6年1月28日に、文教委員会に所属する市議会議員が、部活動の地域移行について、市民と意見交換会を行った際の記録となります。議会から、情報提供がございました。

当日は、子育て世帯や部活動の顧問経験者、部活動に関心を寄せる方など、6名が参加し、市議6名と意見交換を行っております。

地域移行のイメージが分からない、主体はどこが担うのか、といった、部活動の地域移行の制度設計に関することや、現行の部活動や学校に対する問題・課題に対する意見、地域移行後の費用や場所、指導者の確保等に関する課題、教員の負担軽減への懸念や課題等について、ご意見やご質問をいただいております。

こちらの資料についても、検討にあたっての参考資料ということで、情報共有をさせていただきます。

事務局からの説明は以上となります。

【委員長】

ありがとうございます。資料1、2、3について説明していただきました。アンケート結果について、質問やご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

【A委員】

アンケートの意見にもありますが、やはり文化部や運動部の各種目など、一律に地域連携・地域移行をするのは難しいのではないかと感じました。あと、企業の方が入ると負担額が高くなるので、そのあたり平等にやれるかというところがやはり気になります。

【B委員】

受験で、部活動での部長の経験が内申点に影響する高校がありますが、全国的に平等になるよう、国等に意見を上げていく必要があるのではないかと思います。

【委員長】

国では取り決めはないと思いますが、都はありますでしょうか。

【事務局・統括指導主事】

都立高校ではそのようなことはないと思いますが、私立高校だと部活動の取組や、課外活動の取組で内申点がプラスになることがあるということは認識しております。

【C委員】

都立高校では内申点への影響はないはずです。私立高校の場合は、スポーツの強豪校であれば、部活で部長をやっていた場合にプラス点になることはあり、スポーツ推薦を利用する生徒もいます。

【副委員長】

地域文化芸術団体のアンケート結果が3つと少ないですが、これは吹奏楽という理解でよろしいのでしょうか。

あともう一点、全てを横並びでやるわけにはいかないと思います。できることから進めていくべきだと思っております。

また、運動部の活動については、何となくイメージが湧きますが、文化部の活動については、まず対応が必要なのは吹奏楽部だろうと思いますが、他の部活動にも対応をしていかないといけないと思いました。

【委員長】

アンケートの意見にも抽象的などがありますが、本当はゴールのイメージがあり、そこに向かっていくのが分かりやすいのですが、現在、国も模索しているところなので、地域連携・地域移行についても、様々なパターンがあり、一律にゴールを明確にするというのは難しいと思います。

一方で、立川市では、どのような子どもたちを育てたいか、部活動改革することによって、どのような中学生、中学を卒業し、地域に帰ってきたときに、若者たちがどのように地域のクラブ活動に関わっていくか、そのような緩やかなビジョンが重要ではないかと思います。あとのことは、できることから進めていかないといけないのではないかと思います。

【D委員】

スポーツ団体についてですが、スポーツ振興課長から、理事会の際に十分にご説明をいただいておりますが、どうしても加盟団体に温度差があり、例えば、水泳、野球、陸上など、既に部活動に携わっている団体はイメージが湧くので良いのですが、例えば、合気道、相撲、太極拳など、今まで携わりのない団体では、意見が少し後ろ向きになっています。

文化芸術団体でも、既に携わっている団体から好意的な意見が書かれていると思います。既存の部活動で、やれるところから進めていかないといけないと思います。

【E 委員】

アンケートを拝見して率直に思ったのは、総論としては賛成で、各論に入ると非常に消極的にならざるを得ない状況だろうということです。先ほどからご意見あるように、一律に進めていくのはなかなか難しいことだろうと思います。ですので、各論のところでは、そういった意見が集約されているかと思っています。

資料 1 の 5 ページの 6 7 番にも行政の取り組み次第というご意見もあります。5 9 番、6 1 番の費用負担のご意見は、各論に入っていますが、多くの意見が、4 ページの 4 2 番に集約されていると思った次第でございます。

市のビジョンをどうするのか。一律にはできないにしても、ある程度ビジョンを伝えた方が、出来ることからということにも繋がるのではないかと思います。

【委員長】

いろいろな方法があると思いますが、アンケートでいただいたご意見も大切にしながら、また一つずつ進めていくことになるのかと思いました。

2. 部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案について

【委員長】

それでは、次第の 2 「部活動の地域連携地域移行に関する推進計画素案について」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

【事務局・指導係長】

資料4の推進計画素案（令和6年3月21日時点）をご覧ください。

前回の検討委員会で、委員の皆様からいただいたご意見や、今回実施したアンケート結果など参考にしながら、計画素案（たたき台）から見直しを行いました。

今回のアンケート調査等からも、国が進める部活動の地域連携・地域移行の取組のイメージが分かりにくいのではないかといたところも感じましたので、例えば、1ページの枠囲いにあります、「新たな地域クラブ活動とは」で、少し地域クラブ活動のイメージが伝わるようなもの補足をさせていただき、2ページの上段に、部活動の地域連携・地域移行の取組の違いなどがわかる表を差し込むなど、取組のイメージが伝わりやすくなるような修正を加えております。全体的に、見やすさ、分かりやすさといった点で、表記の見直しや、記載する箇所の位置の見直し、若干の表記の整理をしております。

本日は、計画の内容について見直しを行った部分を中心に説明をさせていただきます。該当する部分については、アンダーラインを引いております。

まず8ページをご覧ください。

3.「部活動の地域連携・地域移行における基本方針」(1)の②「部活動の地域連携団体、地域クラブ活動の運営団体・実施主体の確保」の部分です。

こちらは、素案のたたき台では、「地域クラブ活動の運営団体・実施主体の確保」としていましたが、取組としては、4.「改革推進期間の主な取組」で示しているとおおり、まずは「部活動の地域連携」について、連携していただける地域連携団体を確保していくことを掲げておりますので、基本方針の方にも、地域連携団体、地域クラブ活動の運営団体・実施主体の確保について、両方向で取り組んでいくことを追記しております。

また、部活動の地域連携にあたっては、学校部活動への指導者の派遣という形に限らず、合同練習や各種教室の実施など、様々なパターンを想定したものとして、内容を追記しております。

次に、同じ8ページの③「地域クラブ活動のあり方」です。

こちらは、前回の検討委員会で、部活動の教育的な意義とはどういったものか、地域クラブ活動の展開にあたって、教育的意義をどのように継承・発展させていくのか、地域クラブ活動のあり方を含めて、整理した方がよいというご意見をいただきました。

そのほか、教育的な意義として、先生からの指導だけではなく、先輩から教わったことや後輩に伝えていったことなど、仲間との関係づくりという視点でのご意見をいただいております

また、今回実施したアンケート結果でも、「中学生が地域の活動に加わることで、地域活動の活性化や継続化などのメリットがある（資料1、5ページ72番）」、「中学生と地域の人が密接に関わる機会をつくり、学校での部活動から、地域交流の場としてシフトすることで、様々な副次的な効果も期待できる（資料1、6ページ74番）」、「中学校卒業後も、地域クラブ活動として市内に活動場所があると、将来、指導者としても活動の担い手になってもらえるのではないか（資料1、6ページ77番）」といったご意見など、地域クラブ活動を通じた地域と生徒の交流による効果といった視点について、ご意見もいただいております。

こういったところも踏まえまして、本市としての地域クラブ活動のあり方、目指す方向性として、新たに柱立てしました。

③「地域クラブ活動のあり方」の全文を読ませさせていただきます。

学校部活動は、体力や技能の向上等を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教員との好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、学校という環境における生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有してきました。

地域クラブ活動は、学校部活動の教育的意義や役割を地域に継承・発展しつつ、生徒達が地域でスポーツ・文化芸術活動に継続的に親しめる環境を構築していくための活動となります。

学校教育の中で行ってきた部活動を地域の中のスポーツ・文化芸術活動に生徒が参加する形に再構築し、生徒と地域が密接に関わる機会を創出することで、

地域のスポーツ・文化芸術振興の観点等からも様々な効果が期待できます。

地域クラブ活動では、単に生徒に技術的な指導等を行うものではなく、生徒と様々な世代の地域の方が多様な体験や共にスポーツや文化芸術活動を楽しむなどの豊かな交流等を通じた学びなど、新しい価値が創出されるよう活動環境を整備していく必要があります。

また、地域クラブで活動した生徒が、卒業後も可能な範囲で活動を継続し、将来的に地域クラブ活動の指導者として、次代の生徒達と共に活動を楽しむなど、地域クラブ活動の担い手として、力を発揮できるしくみづくりも必要です。

地域クラブ活動を通じて、「ひと」と「地域」がつながりを持ち、好循環を生むことで、持続可能なスポーツ・文化芸術活動の整備を図ります。

このように、少し、本市としてのビジョンといったところも追記をさせていただきます。

続きまして、9ページになります。

(2)の②「指導者の質の向上」です。

こちらについては、前回、体育協会さんで企画している研修会との連携といった意見もいただいております。市と地域団体と連携し、指導者の質の向上に向けた研修会等を開催していく旨に修正しています。

9ページの(3)「活動場所の確保」の部分ですが、地域クラブ活動の場所の確保に限らず、部活動の地域連携における合同部活動や地域団体と連携した取組なども含めて、必要な場所の確保を図っていく旨に内容を修正しています。

10ページの(5)「部活動指導に対する教員の関わり方」です。

こちらについては、教員の負担軽減の観点について、まずは休日の部活動から段階的に教員が必ずしも部活動指導に携わらなくても活動ができる体制の構築に向けた検討について、基本方針に追記しました。12ページの(5)「地域連携・地域移行に向けたトライアル事業の実施」でも、教員の負担軽減の観点も含めて、実施方法等を検討していく旨を記載していますので、基本方針と改

革推進期間の取組の整合を図りました。

また、大会等のあり方に係る部分で、「参加する大会の選択」について追記しております。

同じく（５）の②「地域クラブ活動での指導」を新たに項目立てしました。前回の委員会での意見を踏まえ、地域クラブ活動における指導者としての教員の関わり方について、追記しております。地域クラブ活動においても、教員は兼職兼業という形で許可をとれば、指導者として関わることはできますが、国や東京都のガイドラインを踏まえ、あくまでも、本人の意思を十分に尊重することとしています。

続きまして、11ページです。

４．「改革推進期間における主な取組」の前段部分の４行目の、改革推進期間においては、以降ですが、まずは既存の学校部活動において、休日に活動しているスポーツ競技や吹奏楽部等の文化活動を中心に、関係する地域団体の実態や意向等を把握した上で、取組を進めていく旨を追記しています。

今回のアンケートでも、こういったところから着手をしていくのかイメージが分かりにくいといったご意見もいただいておりますので、全てではなく、まずこういったところから着手をしていくのか、イメージが伝わりやすいように内容を追記しております。

（２）「情報発信」について、発信の対象を児童・生徒や保護者、教員、地域団体等と対象が伝わりやすいよう内容を補足しました。

また、地域で実施されている活動についても、学校等で、ちらしの配布など、生徒や保護者に周知していく旨を追記しています。

（３）「各種調査」をあらたに項目立てしました。今後、アンケート調査などを実施し、実態や意向の把握に努めるとともに、今後の各種取組の展開にあたっての参考とする旨を追記しました。

続きまして、12ページの(4)「人材バンク及び研修体制等の整備」を新たに項目立てしました。前回の意見等を踏まえ、人材バンクの整備やハラスメント防止など、主に教育的な観点からの留意事項について指導者の質の向上を図っていくため、改革推進期間において研修体制等の整備について、追記しました。

また、4.「改革推進期間における主な取組」の各種取組と、関連する基本方針との対応関係がわかるよう、各項目の右下に、関連する基本方針を追記しております。

素案(たたき台)からの主な修正点の説明は以上となります。

【委員長】

前回までの意見を丁寧に反映していただき、ありがとうございます。
ご意見等ありますでしょうか。

<意見無し>

【委員長】

この計画は、一般の市民の方も見られるように公開されるということによろしいですか。

【事務局・指導係長】

はい。最終的に計画が決定されましたら、市のホームページで公開し、市の施設等に冊子を置かせていただく予定です。

【委員長】

ホームページですと見ない方も多いと思いますので、アンケートを実施した団体さんや学校の先生方に配布していただき、市の方向が明確になる方が良いと思いますが、いかがでしょうか。

【D委員】

はい。ぜひお願いいたします。

【委員長】

先ほど私が発言させていただいたことが、計画素案 8 ページの③「地域クラブ活動のあり方」に重なってくると思います。「立川市はこういう活動していく、こういう子どもを育てたい、もどってきた人たちがともに活動する」といった、未来像のような、すごく素敵なことが書かれています。この目標となるようなものが、計画の冒頭に来るべきではないかと思います。

もう一点、10 ページ(5)「部活動指導員に対する教員の関わり方」②「地域クラブ活動での指導」で、教員の負担等に配慮されているのですが、これについては教育委員会や、校長会が監督するなどして、実現するように期待したいと思いました。

【F委員】

アンケートに関する話で、委員長からビジョンを示すべきだというご意見があり、各団体の方からも市が何を求めているのか示してほしいというニーズがある中、本推進計画では、8 ページの③「地域クラブ活動のあり方」という部分が、非常に重要な部分で、これまでの本委員会で出た意見を踏まえた必要な内容が入り、良くなっていると思いました。

今後、具体的な取組を考えていく時や、計画を見直す時に、立川市が市民や団体に示し続けていく、幹となる内容であり、また、伝え続けていくことの大切さについて、改めて気づいたところがございます。

【委員長】

ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

【副委員長】

計画を決定する前に、パブリックコメントは実施するのでしょうか。全国的に策定される計画ではありますが、立川市としても、市民の意見を聞いたうえ

で決定した方が良いのではないかと思います。

【事務局・指導係長】

計画素案についてパブリックコメントを実施する予定でございます。

計画策定の今後のスケジュールですが、令和6年4月から6月にかけて、計画素案を教育委員会定例会、市長をトップとする庁内会議、市議会文教委員会に順次報告し、6月から7月頃にかけて計画素案に対するパブリックコメントを実施し、市民の皆様の意見を聞き、8月から9月にかけて教育委員会定例会、庁内会議、市議会文教委員会に計画原案を報告し、令和6年9月頃に計画を決定する見込みとなっております。

【委員長】

ありがとうございます。そのように進むということで、ぜひお願いしたいと思います。ほかにご意見ありますでしょうか。

【副委員長】

文化庁やスポーツ庁が、部活動の地域移行を進めるにあたり、働き方改革を前面に出しているところはありますが、立川市では、子どもたちのために、より良い環境を作ること考えているということ、もう少し出していただけると嬉しく思います。

【委員長】

私も全く同意見です。ぜひ子どもたちに軸を置いた計画にさせていただけるとありがたく思います。

【委員長】

既に事務局で調査されているかもしれませんが、先進的に地域連携・地域移行を進めている自治体や総合型スポーツクラブ、親クラブ、行政主体クラブなど様々なパターンがありますので、そういったところから情報を得て、具体先なイメージが湧かないという団体さんに提示したり、選択してやってみるなど

すると、一歩先に進むのではないかと思います。

【G委員】

このような形の推進計画はどこの市でも作られると思いますので、8ページの③「地域クラブ活動のあり方」を立川市の中心に置き、それから、子ども主体のということを前面に出していただければと思います。子どもたちが学校の先生以外の地域の方たちと触れ合うことは非常に大事なことです。また、将来にわたり、立川市内で活動ができるということを、立川市の特色として出していければ、一般の方にも響くのではないかと思います。

一点質問ですが、先日、地域学校コーディネーターの方とお話をする機会がありました。これまでに、指導者の質の確保が重要という話はしてきましたが、現在何人ぐらいの地域学校コーディネーターの方がいらっしゃるのでしょうか。

【事務局・生涯学習推進センター長】

地域学校コーディネーターの役割から話をさせていただきます。学校運営が学校だけでは難しくなっていており、地域の方にご協力をいただくため、コーディネーター制度を設けてございます。部活動に関わっている方もいますが、学校の環境整備や、見守り等をしていただく、地域のボランティアの方と学校を結びつける役割として、約30人の地域学校コーディネーターの方がいます。

コーディネーターの方自身が、学校で活動されている場合もあります。

部活動に関わるコーディネーターの方が何人くらいいらっしゃるか、今、数字が出てきませんが、コーディネーターの方と学校とが、部活動の人材がもっと欲しいとですとか、部活動で困っているという話し合いをすることで、改善していく場合もあるのではないかと考えております。

地域連携・地域移行とは、まさにそういったことでございますので、私からも、地域学校コーディネーターの方へ、今日お話があったことを伝えさせていただきます、お願いしていきたいと思っております。

コーディネーターの方も忙しく、活動ができる方とできない方、学校によっても現状は様々ございますが、地域学校コーディネーターの制度を活用しながら、部活動の地域連携・地域移行の取組を進めていけるのではないかと考えて

いるところでございます。

【F 委員】

委員から地域学校コーディネーターについてご質問がありましたが、これまでも地域の方々からは、部活動に限らず、学校に様々なご協力をいただいております。ですので、地域学校コーディネーター制度も含め、既存の制度や、既存の資源をより活性化させ、有効に機能させられるのかというところは、大きな命題だと思っております。

質的な部分でも量的な部分でも、非常に課題が多い中で、既存の取組についても評価し、利活用してまいりたいと思います。

【委員長】

ありがとうございました。

【委員長】

指導者の質の担保について、研修の実施等の意見がありましたが、副委員長の大学や、私の大学にもそのような専門家がおりますので、例えば体罰の問題ですとか、そのような研修に対してご協力できると思いますので、必要であれば、別途お声掛けください。

【事務局・指導課長】

本市では部活動指導員に対して、体罰や不適切な指導等の防止等も含めて、研修を行っております。委員長から貴重なご意見いただきましたので、さらに検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

【委員長】

ほか、いかがでしょうか。

【H 委員】

計画素案ですが、概ねこの通りでいいかと思います。これまで、お話に出て

いるように、立川市としての思いや、子どもを中心に考えるというのが、本当に大切だと思います。

それから、教員という立場から申し上げますが、働き方改革で教員の負担軽減をする必要はありますが、先生方は部活に関わりたくないとは思っていないと思います。

ですから、地域移行の前段階の地域連携にもっと目を向け、地域の方々に学校現場の現状を見てもらう、一緒にやってもらうということが、もっと盛んになっていくと、だんだん地域と学校との垣根が取れて、地域連携が進むのではないかと思います。

【委員長】

ありがとうございました。本日も大変貴重なご意見をたくさんいただきましたので、また素案等に反映していただけると大変ありがたく思います。

それでは、本日の議事は以上となりますが、事務局から連絡ありますでしょうか。

【事務局・指導係長】

本日は、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

先ほど委員の皆様からいただいた、8ページの③「地域クラブ活動のあり方」、こちらは立川市としてのビジョンというところになりますので、内容が重複してしまいましたが、計画の一番前の部分で目立つようにしっかりと掲げさせていただきたいと思います。

あわせて、この取組は、子どもたちが主体となって地域で支えていく、といったところも分かるように、内容を修正させていただきます。

計画素案については、いただいた意見を参考に、委員長と相談をさせていただきながら、本委員会での最終的な取りまとめとさせていただきたいと思います。取りまとめた素案につきましては、修正箇所がわかるような形で、委員の皆様へ送付をさせていただければと思います。

また、素案とりまとめ後、本計画は最終的には本年9月頃に決定する見込みですので、その際にも委員の皆様へ計画書の冊子をお配りさせていただくと

もに、学校長や、地域の関係団体の方など、様々な関係者の方に、本計画の内容が分かるものをフィードバックさせていただければと考えております。以上です。

【委員長】

よろしく願いいたします。最後に、教育長よりご挨拶をお願いいたします。

【教育長】

今年度、最後の中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する検討委員会の終了に当たり、ご挨拶を申し上げます。

初めに、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、検討委員会にご出席いただき、そして貴重なご意見いただきました。ありがとうございます。

また委員長、副委員長におかれましては、検討委員会の円滑な運営に努めていただきまして、重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

令和5年度も年度末となりました。

先週、立川市の中学校連合音楽会が開催され、市内全中学校の吹奏楽部が、演奏を披露したところでございます。卒業する3年生にとっては最後の演奏会、そして後輩にとっては先輩と演奏できる最後の機会でございます。1年間かけて練習した曲を、心を込めて演奏したことが非常に感動的であり、印象的でした。

また、今週は中学校で卒業式が執り行われました。学校行事とともに、部活動での経験を、卒業生が挨拶の中で取り上げておりまして、中学校生活の中で部活動が重要な位置づけであることを、私自身も再認識したところでございます。

さて、今年度3回開催をいたしました検討委員会において、部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案を本日提案することができました。

先ほどスケジュールでご案内したように、この後、パブリックコメントを実施して、最終的に計画を決定してまいります。本市はこの推進計画に基づき地域連携・地域移行を進めてまいります。

本市は立川市の体育連盟協会に加盟するスポーツ団体が多くございます。ま

たプロスポーツの団体、そして協力関係にある大学もございます。今後は様々な課題もございますが、いかにして各団体と部活をマッチングさせていくか。

副委員長からご意見ございましたが、一律ではなく、やはりできるところから段階的に進めていくことが現実的な対応だと思っております。

来年度以降も検討委員会の委員の皆様には、この取組に対しまして、様々なご協力をお願いすることとなりますが、引き続きよろしく申し上げます。

以上簡単でございますが、お礼の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

【委員長】

それでは、これをもちまして令和5年度第3回の立川市立中学校部活動の地域連携および地域移行に関する検討委員会を終了いたします。

どうもありがとうございました。

— 終了 —